

# 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

## 2016 年度事業計画

### 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016 年度事業方針

2016 年度の事業計画として、まず 8 月 26 日から 28 日まで高知市の高知県立ふくし交流プラザにおいて第 31 回リハ工学カンファレンスを開催します。この大会では通常どおり社員総会を開催し、さらに協会設立 30 周年記念事業を実施する予定です。皆様の積極的な参加をお願いいたします。また例年通り協会誌の発行を 4 回、福祉機器コンテスト 2016 を従前のスケジュールで実施いたします。10 月 12 日から 14 日まで東京ビッグサイトで開催される国際福祉機器展（HCR）に当協会のブースを出展し、来場者に協会の活動紹介と福祉機器コンテスト 2016 の受賞作展示、さらにこの会期中に福祉機器コンテストの表彰式を実施する予定です。

分科会活動として、法人内 SIG となるための条件整備を進めていますが、10SIG すべてを協会の活動として財務的に統一することは困難であるため、SIG 会員が全員協会員である 4SIG から法人内 SIG として位置づけて活動していただき、他の SIG とは協会と協力団体として協定を結ぶ計画を進めています。支部に関しては、これまで設立した中部、関西、九州に加え東日本、関東・甲信越、中部四国を加えた合計 6 支部に分けて設立する準備を進めているところです。東日本大震災復興支援は引き続き継続する予定ですが、4 月に熊本で発生した地震による被災地に対しても当協会が災害対策委員会を立ち上げて、支援活動を実施する計画をたてます。

国際協力では今年度と同様に、徳島アグリーメントに基づく北米、EU、豪州に加え、アジア各国との連携強化に努めます。来年の 8 月 22 日から 24 日に神戸で i-CREATE2017 が開催されますが、このときにリハ工学カンファレンスと同会場で同時に開催する計画を進めています。そのため 7 月 25 日から 28 日までタイのバンコクで開催される i-CREATE2016 に理事を派遣する予定です。

会長 繁成 剛

#### 1. 事業

##### 1-1. リハ工学カンファレンス関連（カンファレンス担当理事）

1) 第 31 回リハ工学カンファレンス in こうちの開催準備を行う。

- ・会期：2016（平成 28）年 8 月 26 日（金）～28 日（日）
- ・会場：高知県立ふくし交流プラザ（高知県高知市）
- ・大会テーマ：あたりまえの生活を保障する～可能性を拓けるテクノロジー
- ・大会長：白石研二氏（高知県社会福祉協議会 事務局次長）
- ・実行委員長：下元佳子氏（生き活きサポートセンターうえるば高知代表）

2) 第 32 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

- ・実行委員会立ち上げのサポートを行う。
- ・i-CREATE2017 実行委員との調整。

3) 第 33 回リハ工学カンファレンス開催準備を行う。

- ・開催候補地および実行委員候補者等を検討する。

## 1-2. 福祉機器コンテスト関連（コンテスト担当理事）

### 1) 福祉機器コンテスト 2016

- ・第一次選考会 2016年7月9日（土） 応募作品の書類・ビデオ審査 於：横浜市総合リハセンター
- ・第二次選考会 2016年8月27日（土） 機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査 於：高知
- ・発表・表彰：第43回国際福祉機器展 H.C.R.2016 会場内にて
- ・展示・広報（予定）：  
第43回国際福祉機器展 H.C.R.2016 10月12日（水）～14日（金）（表彰式／受賞作品の実物展示）  
第31回リハ工学カンファレンス（高知） 8月26日（金）～28日（日）  
第18回西日本国際福祉機器展 PPC2016（北九州市） 11月24日（木）～26日（土）（受賞作品の実物展示）

### 2) 福祉機器コンテスト 2017

- 特別協賛：（予定）フランスベッド株式会社
- 協 賛：（予定）株式会社有菌製作所、株式会社今仙技術研究所、川村義肢株式会社、株式会社ケーブ、株式会社松本義肢製作所、株式会社ミクニ、株式会社モリトー
- 後 援：（予定）経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会
- ・福祉機器コンテスト 2016 選考委員会の設置（2016年4月1日～）
- ・募集対象：機器開発部門、学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布：4月中旬
- ・募集期間：機器開発部門 5月～6月、学生部門 5月～7月
- ・展示・広報（予定）：  
バリアフリー2017（大阪）展示会（広報） 4月  
ウェルフェア 2017（名古屋）展示会（広報） 5月

### 3) コンテスト発展のための取り組み

- ・コンテストの企画内容及び運営方法を見直しする。

## 1-3. 協会誌関連（協会誌担当理事）

### 1) 編集委員会の開催

年4回、協会誌の発行に合わせて会場の確保を行い、編集委員会を開催する。そのほか随時、インターネット上にて編集作業の進捗状況について情報交換を行う。

### 2) 以下の協会誌を発行予定

- ・vol.31 No.3 2016/8 特集「話して すっきりしよう！－相談の中から発見される技術 人間関係ぴったりの解決策－」
- ・vol.31 No.4 2016/11 特集「重度障害者のコミュニケーション機器－変遷する技術と支援－」
- ・vol.32 No.1 2017/2 特集「センサとリハ工学（仮題）」

### 3) 査読体制

査読担当委員を中心に、投稿論文の査読者の確保、依頼等を行う。査読体制の改善、さらには査読規定の改正が必要と思われる場合には、担当者間で協議し、対処する。

### 4) 協会誌の段階的電子化

学術誌の電子化・オープンアクセス化は、現政府の政策的要請（当協会にもオープンアクセスアンケートあり）のため、何等かの対応は必要な状況である。学協会著作権ポリシーデータベース SCPJ への登録は行われ、論文のオープンアクセスに関して本協会では「査読後論文のみ認める」という方針を公開している。これは、あくまで要請があれば公開するという立場で、広義のオープンアクセスではない。一方、当協会の設立を担ってこられた先達より、30周年記念誌において、「協会誌は一般に公開できるか」という提案もなされている。しかし、学術誌のオープンアクセス化は、学術知見の共有・知名度向上・引用増加と裏腹に、会員減少につながりかねないことから、会員限定・年度限定・投稿論文電子公開有料化などの方策が各学会で模索されている状況である。本来、ユーザーにとり有益な情報の発信・ユニバーサル・アクセシビリティをを目指す本協会で、電子化承諾を投稿規定に付記した 2016 年以降の協会誌情報が会員限定公開である状況につき、本来情報発信源とすべき、協会 HP の運営を含め、理事の皆様方の御意見を十分お伺いし、事業計画を検討する。

## 1-4. 分科会・専門委員会関連（分科会・専門委員会担当理事）

### 1) 法人内 SIG（仮称）化の推進及び SIG 活動支援

現在設立されている 10 SIG は、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数 SIG 間で協同の事業を行っている。主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ 10 グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーである。

2015 年度は、法人内 SIG のロールモデルとして、協会の会員率が高く、すぐにでも移行可能な 4SIG について、試行的に法人内 SIG として活動し、メリット、課題等の洗い出しを行った。それぞれの SIG で、順次法人内 SIG としての整備を進めた。また、さまざまな運営規模および運営方法である法人外 SIG の活動と協働するために、基本協力関係の覚書を締結する。

2016 年度は、当法人が企画・参画・運営する事業（講習会やコンテスト、協会誌の査読など）実施に際して、法人内 SIG・法人外 SIG の協力を仰ぎながら法人としての活動を活性化していきたい。

なお、各 SIG の活動計画については、次ページに示す。

### 2) 支部再編の推進及び既設の支部への活動支援

2015 年度は、支部設置方針を見直して、設置申請方式から地域区割り方式に変更し、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学に関わる人的ネットワークを構築するために、規定整備を行った。

2016 年度は、支部の区割りに従って、具体的な組織化のために新規支部を 2 支部、立ち上げるための支援を行う。なお、既設支部に対しても、継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金の配分を行いたい。

**2016年度活動計画**

※会員数(協会員数)は2016年5月1日現在。

<b>SIG 姿勢保持</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/posi-sig/">http://www.resja.or.jp/posi-sig/</a>	会員数：185名 (43名)
代表者：繁成 剛(東洋大学) 事務局長：児玉真一(横浜市総合リハビリテーションセンタ ・講習会開催：実施予定(高知キッズバリアフリーフェスティバル同時開催予定) ・役員会の開催：開催予定 2016年12月頃 ・書籍(小児から高齢者までの姿勢保持・第2版)や資料集PDF版の販売		
<b>車いすSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/wc-sig/">http://www.resja.or.jp/wc-sig/</a>	会員数：121名 (64名)
代表者：松尾清美(佐賀大学) 事務局長：深野栄子 ・講習会開催：2016年8月24日・25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・講習会開催：2017年1月28・29日または2月4・5日 会場未定(神奈川県) ・WEBサイト運営、テキスト発行(年2回)、分科会(BOG)活動、東日本大震災復興支援、協会事業への協		
<b>自助具SIG</b>		会員数：9名 (9名)
代表者：岡田英志(ヒューマン) 事務局長：岡田英志(ヒューマン) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・自助具セットの製作(展示会・講演会で使用する)		
<b>乗り物SIG</b>	<a href="http://ameblo.jp/sunrise.jp007/">http://ameblo.jp/sunrise.jp007/</a>	会員数：5名 (5名)
代表者：岩崎満男(株ファースト・ウェルフェア) 事務局長：増子 千景(WILD GATE) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣		
<b>SIG 褥そう防止装置</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sig-pmps/">http://www.resja.or.jp/sig-pmps/</a>	会員数：20名 (20名)
代表者：新妻淳子(国立リハセンター研究所 事務局長：河合俊宏(埼玉県総合リハビリテーションセンタ ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・第5回震災復興支援 講習会 講師派遣		
<b>コミュニケーションSIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/com-sig/">http://www.resja.or.jp/com-sig/</a>	会員数：67名 (20名)
代表者：渡辺崇史(日本福祉大学) ター) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣		
<b>SIG 住まいづくり</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/sumai-sig/">http://www.resja.or.jp/sumai-sig/</a>	会員数：107名 (60名)
代表者：橋本美芽(首都大学東京) 事務局長：鈴木基恵(横浜市総合リハビリテーションセンタ ・東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会への協力と講師派遣 ・第31回リハ工学カンファレンスinこうちSIG基礎セミナーへの講師派遣		
<b>特別支援教育SIG</b>		会員数：5名 (5名)
代表者：松田靖史(川村義肢株式会社) 事務局長：高原光恵(鳴門教育大学) ・講習会開催：2016年8月25日 高知県立ふくし交流プラザ(高知市) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・東日本大震災復興支援リハビリテーション工学講習会への協力		
<b>移乗機器SIG</b>	<a href="http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index">http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index</a>	会員数：128名 (23名)
代表者：古田恒輔(神戸学院大学) 事務局長：青木久美子(宇部記念病院訪問リハビリテーション) ・第31回リハ工学カンファレンスinこうち SIG基礎セミナー 講師派遣 ・移乗機器SIG講習会 開催検討中		
<b>義肢装具SIG</b>	<a href="http://www.resja.or.jp/po-sig/">http://www.resja.or.jp/po-sig/</a>	会員数：164名 (47名)
代表者：水澤二郎(一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門校) 事務局長：砂野義信 ・第31回リハ工学カンファレンスin高知 SIG基礎セミナー ・講習会開催：2016年10月1日 義肢装具SIG第12回講習会 高知県産学官民連携センター(高知県) ・WEBサイト運営		

3) 復興支援講習会開催の検討

震災翌年より、東日本大震災復興支援講習会を継続して行っている。また、昨年度は熊本で大きな震災も発生しており、それを踏まえ、復興支援講習会の開催に関する企画検討を行う。

4) 災害対策委員会の活動

2016 熊本地震の被災地支援を目的に、日本財団の助成金交付を受けて以下の活動を行う。

現地調査：具体的なニーズ調査の実施

物資の支援：強化ダンボールで机、椅子、棚などの生活必需品を作るための材料・制作し支援先に送付

被災地での技術支援：ワークショップや講習会を実施

#### 1-5. 企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動および会員獲得に向けた PR 活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

##### 1) 学会展示会、広報活動強化（担当理事：事業統括・企画・広報）

以下の展示会へブースを設定し、広報活動を実施する。

- ・第 43 回国際福祉機器展（HCR2016）（2016 年 10 月 12 日（水）～14 日（金） 於：東京ビッグサイト（東京））
- ・バリアフリー2017（2017 年 4 月 於：インテックス大阪（大阪））
- ・その他各地域で行われている福祉機器展への出展・協力（第 18 回西日本国際福祉機器展など協力が得られる地域の福祉機器に出展）。支部や SIG との協力を積極的に進める。

##### 2) セミナー開催（担当理事：企画・事業統括）

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果の向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。

- ・第 43 回国際福祉機器展（HCR2016）（東京）での出展社ワークショップ企画・開催  
SIG 等の協力を得て、リハビリテーション基礎講座を出展社ワークショップにて開催する。
- ・第 18 回西日本国際福祉機器展（PPC2016）（北九州）でのセミナーの企画・開催  
九州・沖縄・山口支部の協力を得て協会主催セミナーを開催する。
- ・バリアフリー2017（大阪）でのワークショップの企画・開催  
関西支部やリハ工学カンファレンス in 神戸実行委員会と調整・協力の上、ワークショップを企画・開催する。
- ・地方での福祉機器展における主催セミナーの企画・開催  
関東・関西以外の地域での会員獲得と協会広報・情報発信・技術普及を目指し、地方での福祉機器展等の合わせたセミナーを企画・開催する。
- ・HCR2016 子ども広場でのイベント企画  
子ども広場を利用し、福祉機器コンテストの過去の受賞作品の中からや、当協会と関連する SIG および学校・企業等の協力の下、障害を持つお子さま向けの機器・おもちゃ等の展示を企画検討する。
- ・空港における車椅子取り扱い講習会  
空港における補助犬受け入れ&車椅子取扱いセミナー（大阪国際空港を予定）に関西支部の協力・連携のもと参画し、福祉用具の取扱等について普及啓発を図ることで、障害者の自立と社会参加の支援を広げる。
- ・第 6 回合同シンポジウムの開催  
昨年に引き続き、全国頸髄損傷者連絡会との合同シンポジウムを本年度も開催する。第 6 回については、地域支部の協力の下、九州等のこれまで開催していない地域での開催を視野に入れて企画・実施する。

### 3) 30周年記念事業

リハ工学カンファレンス in こうちに合わせて 30 周年記念事業を行う。

実施方法は、30 周年記念パーティーとし、懇親パーティーを行うとともに、会長・理事長経験者や長い期間理事を務めるなど、協会運営に多大なる貢献をしていただいた方に感謝状を贈呈する。あわせて、その代表者より講演（30 分程度）を行ってもらう。

## 1-6. 国際関連事業（国際担当理事）

### 1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・リハ工学カンファレンスへの各国代表参加者の参加費負担
- ・i-CREAtE、RESKO、TREATS、RESNA 等への RESJA 代表者の参加費負担
- ・支援技術専門家組織連合（AATPO：仮称）への加盟分担金負担

### 2) 国際委員会の開催

理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際委員会を設置したので、年に 2 回程度の開催を予定し、理事会の決定を補佐する。

### 3) RESJA 英文パンフレットの英語専門家によるチェック

昨年塚田前理事のご尽力によって、念願の英文パンフレット（原稿）を作製した。正式な印刷およびホームページへの掲載の前に専門家によるチェックが望ましいので、費用計上する。

## 2. 総務

### 2-1. 規則・選挙関連（規則・選挙担当理事）

#### 1) 2017 年度（平成 29 年度）新代議員・役員候補者選挙

2017 年度（平成 29 年度）新代議員・役員候補者選挙を行う。

#### 2) 規定の整備

各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う。

### 2-2. 財務（財務担当理事）

#### 1) 法人会計の管理

- ・法人会計の管理
- ・法人会計の整備

### 2-3. 総会・理事会等会議の開催（総会・理事会担当理事）

#### 1) 2016 年度定時社員総会の開催

日時：2016（平成 28）年 8 月 27 日（土） 12：20～13：20

場所：高知県立ふくし交流プラザ 2 階大ホール（第一会場）

#### 2) 2016 年度理事会の開催

2016 年度理事会を 7 月、10 月、12 月、3 月、6 月に実施する予定

### 2-4. 広報・渉外（広報・渉外担当理事）

会員向けメーリング、および公式 Facebook 等により、積極的に情報発信を行う。

## 2-5. 事務局（事務局統括理事）

### 1) 事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める。

### 2) ホームページの運営・管理

会員サービスの一環とし今まで以上のホームページ掲載内容の充実を図り、迅速な対応をめざす。

### 3) 大規模災害時の協会の対応

大規模災害時の協会の対応について：福祉用具関連団体との連携をとるための調整を行う。

## 3. 後援・協賛事業

後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記のとおりである。

No.		団体名	開催日程	内容
1	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2016/7/3	プラネット第2回研究大会
2	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2016/7/29～30	ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2016
3	後援	一般社団法人日本福祉のまちづくり学会	2016/8/5～7	日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会
4	後援	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター	2016/9～2017/4	第4回ウェルフェアデザインコンテスト
5	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2016/9/6～9	ヒューマンインタフェースシンポジウム2016
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2016/9/9～11	第50回日本作業療法学会
7	後援	独立行政法人国高等専門学校機構 熊本高等専門学校	2016/9/10～11	Japan ATフォーラム2016
8	後援	一般社団法人ナンフェス	2016/9/19	ウォーク&ランフェスタ2016
9	後援	NPO法人ケアリフォームシステム研究会	2016/10/15	ケアリフォームシステム研究会 全国大会in横浜
10	後援	一般社団法人日本義肢装具学会	2016/10/15～16	第32回日本義肢装具学会学術大会
11	後援	特定非営利活動法人バイオフィリアリハビリテーション学会	2016/10/29～30	第20回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
12	後援	日本身体障害者補助犬学会	2016/10/29～30	日本身体障害者補助犬学会第9回学術大会
13	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/11/3～5	ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016 (LE2016)
14	協賛	バイオメカニズム学会	2016/11/12～13	第37回バイオメカニズム学術講演会
15	後援	東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター	2016/11/19～20	平成28年度 福祉用具講習会 『第4回南多摩福祉機器展』
16	協賛	公益社団法人計測自動制御学会	2016/12/15～17	第17回SICEシステムインテグレーション部門講演会

（下線は新規）